

# 福島県双葉郡広野町議会

## 1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

広野町議会は、年4回の定例会と必要に応じ臨時会を招集。特に平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降は復旧・復興に関する案件が多く、スピード感をもって臨むなかにも活発で慎重な審議を行っている。

委員会は総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の2つの常任委員会を設置しており、委員会条例に基づく所管事務の審査と調査を行っている。

また、東日本大震災災害復興に関する特別委員会では、避難生活から帰町に向けた課題解決について議論を重ね、国や各種団体へも積極的に要望活動を行っている。

議員発議では、少しでも町の復旧・復興に役立てようと報酬の削減にも取り組んでいる。

## 2 住民に開かれた議会

議会だよりの充実を図っている。昭和59年2月1日創刊で、平成26年11月で123号を発行。平成16年には広野町議会広報の発行に関する条例を制定し、平成21年2月には、第23回町村議会広報全国コンクールにて最優秀賞を受賞した。

定例会終了後1カ月以内の発行とし、7人で編成する広報委員会で紙面の企画・構成を協議し、見やすい、読みやすい議会広報を心がけ、できるだけわかりやすい文章を心がけている。また、専門用語やカタカナ用語は多用せず、見出しや余白、写真を工夫して掲載している。加えて、公平性、正確性、客観性を重視している。現在は震災の影響により、全ての世帯に郵送している。

本会議の開催は、防災行政無線やホームページにより広報紙、傍聴者には日程や一般質問通告概要を配布して町民が傍聴しやすい環境に努めている。

## 3 地域振興のために特別な取り組みをした議会

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対する「東日本大震災災害復興に関する特別委員会」では、未だに多くの町民が避難生活を強いられている状況下で、帰町に向けた町内の除染や、インフラの復旧・復興など現地調査を含めて積極的に取り組んでいる。また、「県内原発全10基の廃炉を求める意見書」を全会一致で可決し、国に送付した。

広報広聴という面では、行政や議会、町の話題など地域に関することについて町民の率直な意見をお聞きする「まちかどインタビュー」を議会だよりに毎

号掲載している。

多くの町民が避難している状況であるが、議員自らが聞き手となり、今後の町の将来や現在の課題・話題など、ありのままの意見を掲載し、読み手も一緒に考えさせられるような紙面づくりに取り組んでいる。

そして、町民の意見や想いを反映させられるよう、ふるさとの再生に向け、執行部と一丸となり課題解決を図っている。